

セルテキストエディタは、マウス操作で場所を移動できますが、右上の×（閉じる）ボタンをクリックするまで、EXCEL 画面上に表示され続けます。

セルテキストエディタには 4 つのボタンが配置されています。

（左上）「選択したセルの編集開始」

あらかじめ EXCEL 上のセルを選択した状態でセルテキストエディタを起動すると、自動で当該セルのテキストが読み込まれますが、セルテキストエディタ起動後別のセルを選択する場合、このボタンをクリックして読み込ませてから編集してください。

（右上）「クリップボードからテキストを貼り付ける」

任意のソフトウェアのテキストデータをそのままセルテキストエディタに貼り付ける場合、このボタンをクリックしてください。

（左下）「編集したテキストのセルへの反映」

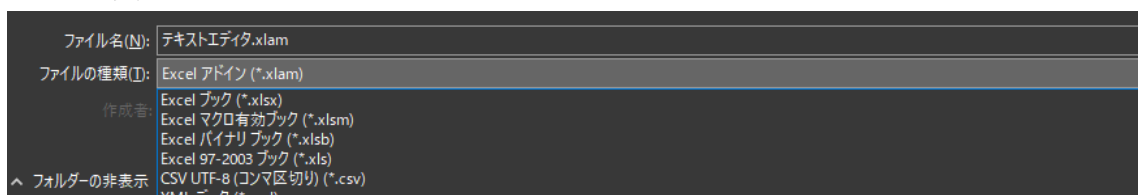
編集が終わった場合、セル内容を上書き更新する場合、このボタンをクリックしてください。

（右下）「編集したテキストをクリップボードにコピーする」

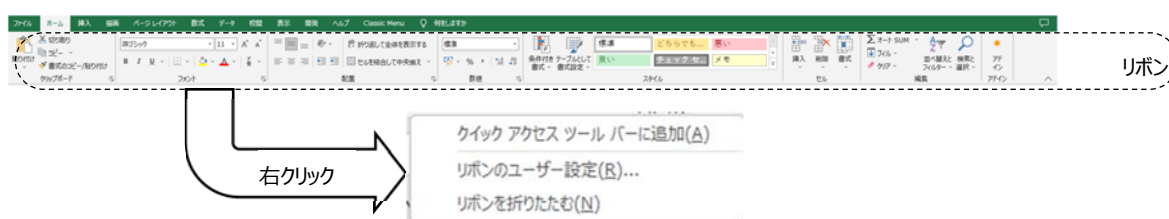
編集したテキストデータを別のセルや任意のソフトウェアにコピーしたい場合、このボタンをクリックしてください。

2. インストール方法

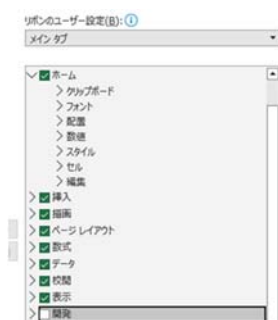
- ① モジュール工房ウェブサイトから入手したマクロ有効ワークシート「セルテキストエディタ.xlsm」を、信頼できるファイルとして、マクロを有効にした上で一度開きます。
- ② 拡張子 xlsm を xlam (Excel アドイン) に「名前を付けて保存」で表示される下記ドロップダウンリストで変更して保存します。保存するフォルダは、自動でアドイン用フォルダが選択されますので、保存場所を変更しないようにしてください。



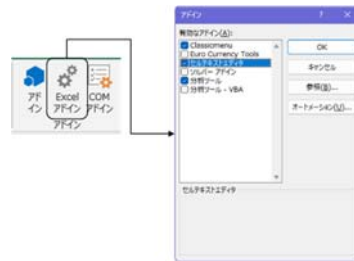
- ③ テキストエディタ.xlsm を閉じた後、新たに EXCEL の空白のブックを起動し、リボンの任意の場所を右クリックして表示される下記から、「リボンのユーザー設定 (R) 」を選びます。



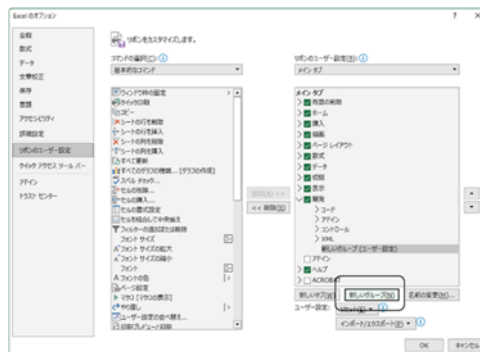
- ④ 開いた画面右側の「リボンのユーザー設定」の「メインタブ」を選び、「開発」にチェックが入っていることを確認し、入っていない場合はチェックを入れて、OK をクリックします。



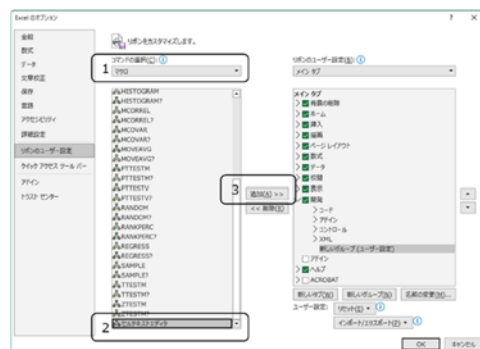
- ⑤ 開発タブの「アドイン」グループ内にある「Excel アドイン」をクリックします。有効なアドインの中にチェックがついていない状態で「セルテキストエディタ」があると思いますので、チェックをつけて、OK をクリックします。



- ⑥ 再度リボンのユーザー設定を開き、任意のタブ（ここでは「開発タブ」を使用）を選んで、「新しいグループ」をクリックします。



- ⑦ さらにコマンドの選択で「マクロ」を選び（１）、表示された「テキストエディタ」を選び（２）、新しいグループに追加（３）します。



⑧ 「新しいグループ」に「セルテキストエディタ」リボンが下記のように登録されたら OK をクリックします。

